

指導と評価の年間計画（シラバス）（案）

教科(科目)	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
家庭総合	2	1年		

家庭総合4単位を第1学年と第2学年で分割履修するものとする。

到達目標	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
【学習指導要領】	
到達目標に向けての具体的な取組	・実験、実習、ワークショップ等を活用し、生活に必要な知識や技術を実践的・体験的に習得できるようにする。 ・日常の生活との関わりを認識させながら、家庭や地域に関心をもたせるようにする。
【指導上の留意点】	・実際の生活の場で生きて働く力になるように、各学習内容を総合的に関連させるようにする。 ・学習内容を生徒自身の生活課題としてとらえさせ、主体的に解決する態度を養うため、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を十分活用する。

月	進度(単元・章・項)	指導内容(項目活動)	評価方法	評価のポイント
4	導入 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 人の一生と家族・家庭 ・人の一生と発達課題	・「家庭総合」の学習では生活課題を主体的に解決できるようにすることが重要であると認識させる ・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の意義を理解させ、問題解決への主体的実践的態度を育てる ・各ライフステージの特徴と課題を理解させ、青年期の生き方について考えさせる	・授業観察 ・ワークシート ・自己評価	・活動の趣旨を理解している ・積極的に活動に関わろうとしている ・正しく内容を理解する ・自らの生き方と重ねて考えることができる
5	・家族・家庭と社会 ・生活設計	・核家族化や少子化について理解させ、家族員数の変化と社会の関わりについて認識させる ・職業労働と家事労働の意義と問題点についてロールプレイを通して考え、男女が協力しあい、家庭を営むことの重要性について認識させる ・生活に関する多様な価値観を尊重する態度を育て、「人生すごろく」を作成し自己の生活設計について考えさせる	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・相互評価 ・作品	・基礎的知識が身に付いている ・社会との関わりに関心を持つことができる ・積極的に役割を演じている ・他者理解を深めようとしている ・作成した作品を適切に発表できる
6	高齢者の生活と福祉 ・高齢者の心身の特徴と生活	・高齢者の生活を理解し、心身の変化は個人差が大きいことを理解させる ・身体的変化については疑似体験を通して体験的に理解させる ・高齢者の自立と介護について、具体例を挙げながら考えさせる	・授業観察 ・レポート ・ワークシート	・基礎的知識が身に付いている ・積極的に体験に取り組んでいる ・体験を通して自らの生活を振り返ることができる ・正しく内容を理解する
7	・高齢者の福祉 ・高齢者の介護の基礎 ホームプロジェクト	・高齢者福祉の基本理念について理解させる ・地域の高齢者福祉の例を挙げ、身近な問題として福祉を考えさせる ・高齢者を支える家族や地域サービスや制度を知り、自らも地域の一員であることを認識させる ・日常生活の介助実習を通して介護の心構えやコミュニケーションの必要性について考えさせる ・各自の生活の中から課題を見だし、課題解決に向けた計画を考えさせる	・授業観察 ・レポート ・ワークシート ・自己評価 ・期末考査 ・レポート	・基礎的知識が身に付いている ・自分の意見をまとめることができる ・介助の技術を身につけている ・高齢者とのコミュニケーションを図りながら積極的に取り組んでいる ・課題に沿った実施計画であるか
9	生活の科学と文化 ・衣生活の科学と文化	・実践内容について、反省・評価を踏まえ、成果の発表をさせる ・1枚の布を着ることで巻衣型の被服の特徴や気候風土に適した民族服について理解させる ・被服の機能と着装について考えさせる	・レポート ・自己評価 ・他者評価 ・ワークシート	・主体的な活動であるか ・活動内容を適切に発表できるか ・着装を工夫することができる ・主体的に取り組んでいる ・基礎的知識が身に付いている
10	"	・被服材料の特徴について燃焼実験や顕微鏡の観察などを通して体験的に理解させる ・着心地に影響を与える要因について考えさせる ・織物製作を通して三原組織の特徴について理解させる	・授業観察 ・レポート ・作品	・内容を正しくまとめることができる ・科学的な考察ができる ・実生活との関わりを認識できる ・意欲的に取り組んでいる
11	"	・被服製作実習により、立体構成の特徴を理解させ縫製技術を習得させる	・授業観察 ・作品	・基本的な縫製技術を習得している
12	"	・洗剤の働きと汚れが落ちる仕組みを理解させ、被服材料に応じた手入れができるようにする ・組成表示や取り扱い絵表示の意味を理解させる ・資源の有効利用の観点から廃棄や再利用など長期にわたる被服計画を考えさせる	・自己評価 ・授業観察 ・ワークシート ・レポート ・期末考査	・被服の構成が理解できる ・基礎的知識が身に付いている ・自分の意見をまとめることができる ・今までの生活を振り返り、今後活かそうとしている
1	子どもの発達と保育・福祉 ・子どもの発達	・胎児の発育模型を用いて母体の健康管理の重要性に気づかせる ・新生児模型を用いて乳児期の特徴を理解させる ・VTR 視聴により胎児期、乳幼児期の心身の特徴を理解する ・子どもの遊びの意義を考えさせる ・家庭保育と集団保育のそれぞれの意義について理解させる	・授業観察 ・レポート ・ワークシート	・胎児と母体の健康管理について主体的に考えることができる ・基礎的知識が身に付いている ・自ら感じたことを適切に表現することができる
2	・親の役割と保育	・乳幼児期は人間形成の基礎となる時期であり、親との関わりが特に大切であることに気づかせる ・育児不安や児童虐待などについて触れ、親の保育を支援するための社会施策について理解させる ・子どもを産み育てることの意義についてディベートを行い考えさせる	・授業観察 ・ワークシート ・自己評価 ・相互評価	・基礎的知識が身に付いている ・社会的な問題に関心を持ち授業への関心をもっている ・積極的に取り組んでいる ・事前に必要な資料を検討することができる ・自分の意見を述べることができる
3	・子どもの福祉	・児童福祉の基本的理念について理解させる ・子どもをよい環境で育てるために家庭や社会が果たす役割について考えさせる ・幼稚園実習を通して子どもと適切に関われるようにする	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・学年末考査	・内容を理解できる ・社会と家庭との関わりを認識する ・発達段階に応じた対応ができる ・安全に配慮することができる ・積極的に関わろうとする